

愛西市特別職報酬等審議会会議録（概要）

会議名称	第2回 愛西市特別職報酬等審議会
開催日時	令和5年10月5日（木） 午前10時00分から午前11時25分まで
開催場所	愛西市役所北館 3階 災害対策本部兼会議室
出席委員	別紙のとおり
欠席委員	後藤英一郎、水野善弘
公開・非公開	公開
傍聴人の数	0人
審議事項等	(1) 会議録署名者の決定について (2) 愛西市特別職報酬等について (3) その他
審議経過	別紙のとおり
会議資料	会議次第 追加資料

愛西市特別職報酬等審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	岩 崎 恭 典	
副 会 長	猪 飼 常 雄	
	加 藤 金 彦	
	後 藤 英 一 郎	欠 席
	中 林 克 司	
	原 田 健 三	
	古 川 宏	
	松 永 恵 美 子	
	水 野 秀 俊	
	水 野 善 弘	欠 席

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西 川 稔	
人事課長	加 藤 貴 也	
人事課課長補佐	大 平 剛 史	
人事課主任	服 部 一 徳	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>1 開会</p> <p>只今より、令和5年度第2回愛西市特別職報酬等審議会を開催します。 開会に当たり事前に報告します。 本日の傍聴者はありませんでした。</p>
会長	<p>2 あいさつ</p> <p>本日は報酬等がどうあるべきか基本的な考え方を決めて、具体的な答申を作っていく作業に入りたいと思っています。次回市長に答申できるように進められたらと思っていますので限られた時間ですが忌憚のない意見をいただきますようよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>審議会規程第3条第2項により、ここからは会長に議長を務めていただき議事の進行をお願いします。</p>
会長	<p>3 付議事項</p> <p>(1) 会議録署名者の決定について</p> <p>審議会規程第5条第3項の規定により、会議録署名者の指名をします。 名簿順で加藤委員にお願いしたい。よろしいですか。 （「はい」の声あり） 加藤委員、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>(2) 愛西市特別職報酬等について</p> <p>はじめに前回の審議会では追加資料の要望を委員の皆さんから頂きましたので、事務局から説明を受けたいと思います。</p>
事務局	<p>（追加資料1から3を説明）</p>
会長	<p>報酬等を引き上げるのか、引き上げないのか、もし引き上げるとしたらどれくらい引き上げるのか議論をしていきたいと思います。</p>
事務局	<p>まず、本日の追加資料でも人事院勧告や近隣市の状況の説明がありました。やはりこの辺りを参考にしていく必要はあると思います。</p>
事務局	<p>その人事院勧告の内容としては、平均給与の改定率は+0.96%、ただ若年層を重点的に引き上げていて、5級以上の方は+0.3%であるという事です。近隣市で既に答申されている津島市はおそらくこの+0.3%という数字を参考にしていないかと思われませんが、この点について、どこを基準にしていくと良いと思われませんか。皆さんのご意見をお願いします。</p>
委員	<p>津島市が+0.3%という事ですが、過去どのように推移して今年+0.3%となったのか過去の推移はわかりますか。</p>
事務局	<p>一度調べてみます。</p>
会長	<p>他にどうですか。</p>
委員	<p>今、津島市の話がありましたが、人口とか財務状況であれば、みよし市の</p>

委員	<p>方が近いと思いますがいかがでしょうか。私は、もうちょっと現実的に見て、締めるところは締めないといけないと思います。人口が減っていて、高齢化もあって市として縮小していると思いますので、私としては微増とか据え置きが妥当じゃないのかなと思います。</p> <p>私は労働者目線で少し発言させていただきます。市の財政力は、企業誘致とか、人口によって変わってくると思いますが、当然将来に向けて、収入を上げていくことに取組んでいく必要があると思っています。ただ、企業誘致とか、さまざまな計画は20年30年といった長期で見る必要があるものも多いので、現時点が計画通りっていう話であれば、私はその結果はまだ出ていなくても市の運営を評価していいのではないかと考えております。</p> <p>それから、やはり近年の物価上昇が消費者物価指数で100を超えていて104とか105という数字もありますので、物価上昇に追いつくような、賃金形態にしていけないといけないんじゃないかと思っています。近年、生活不安ですとか、雇用不安などさまざまなことが渦巻いている中で、しっかりと計画通り事業を進めて、賃金を上げていくというところで不安の払拭っていうのは、私は必要だと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。大きくは成長と分配の好循環が必要ですよ。物価上昇を加味して、職員の賃上げも前提として報酬を引き上げるという事は良いのではないかと私も思います。あとはどれくらい上げるのかというところで人事院勧告を参考にするならば、管理職相当の方が+0.3%という数字がありますし、近隣の津島市も+0.3%としたということですが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私も会長が言われた通り、据え置き又は引き上げでよいと考えます。仮に引き上げるとしたときに、何%上げるかの率を作るのは非常に難しく、人事院勧告の数字や近隣市の数字を基準にするのが良いのではないかと考えますので+0.3%ですかね。</p>
会長	<p>ありがとうございます。0.3%という数字を出していただきましたがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>先程、ご質問がありました津島市長の給与について調べられる範囲で調べさせていただきましたが、月額90万6,000円で平成28年度以降変動しておりませんのでしばらくの間、据置という答申が続いてきたと思われま。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今の愛西市長の給与が93万4,000円ですが、これに0.3%を乗じると2,802円って額になります。2,802円とするのでしょうか。</p>
事務局	<p>あくまでも過去のやり方としては、千円未満については切捨てして金額を決定してきたようです。</p>
会長	<p>なかなか四捨五入とか切り上げるって話はならないですよ。切り捨てる方向ですかね。皆さんいかがでしょうか。</p>
委員	<p>金額、アップ率だけを聞くと、民間の引上げに比べて見劣るのではないかと思います。今年は、やはり物価高、エネルギー高とかそういうものをしっかりと賃金に反映させようという動きが、かなり大きくありましたので、当</p>

	<p>社でも 7,000 円ベースアップしています。物価上昇分をしっかりと賃金で賄えるように交渉が行われていましたので、仮に+0.3%で2,802 円。切り下げて2,000 円というのは民間の上げ幅と比べるとちょっと見劣りをするんじゃないかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今年、民間はかなり上がっているようですね。それがおそらく人事院勧告に反映されるのは、来年ということになってしまう部分もあると思います。今の民間の状況を見ていると、来年ももう少し上がることになる可能性は大きいと思います。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>先程の切り上げ、切り捨てっていうのは、誰が決めるのですか。 この会で決める形ですよ。だけど切り上げてしまうと率が変わってしまうので難しいですね。前回のやり方で+0.3%するとどうなりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市長、副市長、教育長は+2,000 円。議長、副議長、議員は+1,000 円になります。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>そうですか。皆さんどうでしょうか。 愛西市の財政状況から考えれば、実質的に人事院勧告の+0.3%より低くなるが妥当ではないか。据え置きでは駄目だと思うが、市民の納得は得られると考えます。</p>
<p>会長</p>	<p>端数を切り捨てた理由として、愛西市の財政状況を考慮したという意見をいただきました。他にはいかがでしょうか。</p>
<p>委員 会長 委員</p>	<p>人事院の勧告は+0.96%なんですよ。 全体としてはそうですね。 そうすると勧告率に対して、どんどん離れてしまうような気がします。 だからといって0.96%上げるべきとはならないと思いますが。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。議論いただいているんですが、給与月額改定について+0.3%を基本として1,000 円未満を切り捨てると特別職で+2,000 円。議員の報酬月額が+1,000 円となります。今年はこの額でいかがでしょうか。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>(了解) ありがとうございます。それから政務活動費の交付額についてですが、我々が決めることではないですが、議会の方では年額 20 万 4,000 円で、年度当初一括払いで来年 4 月からスタートするという方向性のようなようです。その使い方とか、償還払いという意見もあったと付記されていますが、領収書は必須でインターネットで公開するぐらいの話になっていくんでしょうね。この政務活動費が生活給になることはないだろうと思いますが、その制度設計の結果を見ながら、来年度、これを踏まえて、議員報酬がどうあるべきかを別途考えていこうということになると思います。 また、支払を議員個人としているのも、これも議会によって色々ありますね。会派ごとに支払うというやり方もあります。それがあると、会派を組まなくちゃいけないってことで揉めることもあるようです。なので、愛西の場合には議員個人に対して、支払うということは、どちらかといえば望ましい方向だろうと思っています。皆さんいかがでしょうか。</p>

委員	<p>政務活動費についてですが、月額の妥当性ですとか、市民感情とか色々ありますが、議会を活性化させるための費用であるならば、きちっと用途を限定して、その目的を本当に果たしてもらわないと、これを交付する意味がなくなってしまうので、生活費に充てられないようにすることは当然ですが、しっかり愛西市の活性化のために使っていただきたい。視察ですとかが中心になると思いますが、そういう目的をしっかりと見失わないように使っていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それから、特別職及び議員の皆さんの期末手当の支給月数について、この審議会に諮問されている事項ではありませんが、人事院勧告を参考にしますと0.10月分引き上げとなります。こちらについてもご意見をいただきたいと思っています。</p>
委員 会長	<p>ここは企業と異なる部分ですね。民間は業績ですからね。 そうですね。人事院勧告は民間のボーナスも調べていますよね。その調査結果から+0.1月っていう数字が出てきているということですよ。</p>
委員 委員 会長	<p>世の中の景気が良ければ、それに連動して上がるということですね。 民間に合わせて上がっているのであれば、良いのではないかと。 はい。ありがとうございます。 それでは、今日の審議内容を踏まえて、次回の審議会で答申を取りまとめていきたいと思っています。</p>
委員	<p>(了解)</p>
会長 事務局	<p>(3) その他 では、第3回の会議の開催について、事務局からご説明をお願いします。 次回の開催は、10月23日(月)午後2時からを予定しております。</p>
会長	<p>閉会 本日の会議はこれにて終了します。</p>